

自転車利用実態定点調査報告

平成27年9月

(一財)日本自転車普及協会

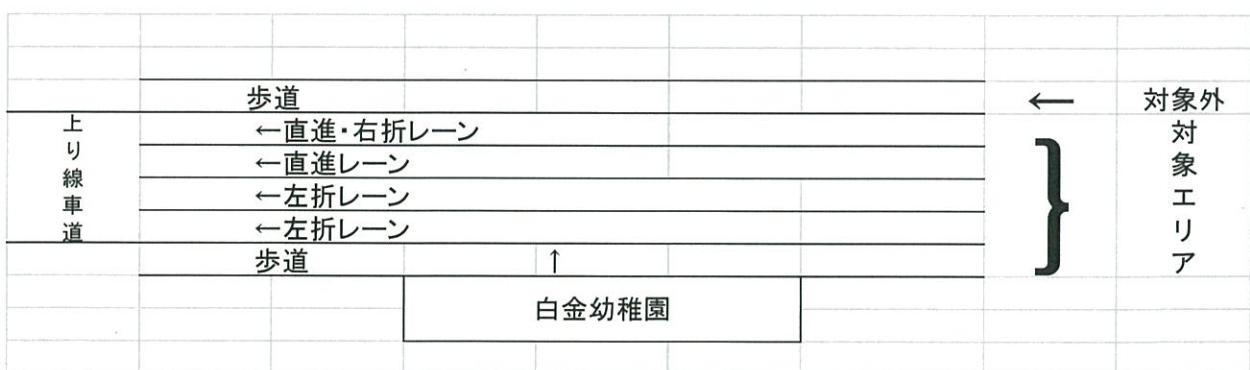
調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の参考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成27年8月25日
[午前]9:00~10:00

調査場所 • 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点（首都高速目黒線直下）から70m程の上り坂）

概要 • 調査対象（車道線：目黒通り上り4車線及び歩道幅員3.1m
[一部歩道橋橋脚部分1.5mあり]）

調査対象外（反対側上り歩道）



調査事項 走行空間調査（車道、歩道）と危険走行調査

歩道五輪利用状況調査点検表			
調査日時	午前	午後	危険運転行為
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

調査日時： 年月 日（）
 時間：
 天候：
 調査時間：
 ——————

<調査票>

[コメント]

- ◎走行空間においては、車道左側走行率は、22%であり、また、車道中央走行率も、22%、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の5割強を占めている。
- ◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(20件)・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ(各3件)・片手運転(2件/内1件は、携帯電話を使用しながらの運転)・脇見運転(1件)の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の8/24午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(22%)に対し、前回(14%)より、5割ほど上昇である。

上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・22%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・8%)より、約3倍弱である。

・子乗せ自転車

今回(8%)に対し、前回(15%)の約半分の水準
上り地点(8%)に対し、下り地点(18%)と約半分の水準

・電動自転車

今回(16%)に対し、前回(34%)の約半分の水準
上り地点(16%)に対し、下り地点(29%)の約半分の水準

・危険運転行為
(違反行為を含む) 上り地点の【肩に荷物・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ】に対し、
下り地点では【肩に荷物・立ち漕ぎ・片手運転】と、共通項目は、
肩に荷物・立ち漕ぎの2件となっている。

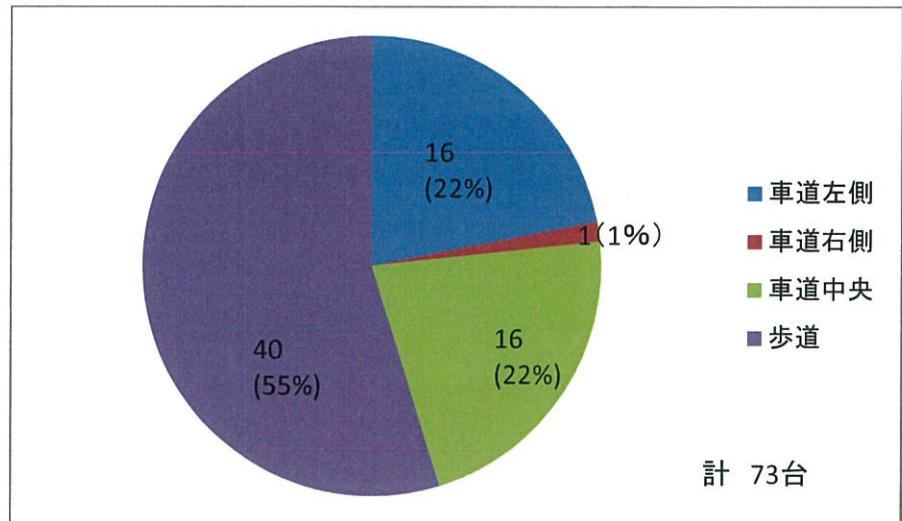
なお、中央走行者については、依然として電動自転車を使用していない。

さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から 道路中央を走行していたが、4 車線での中間(両隣が2車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。

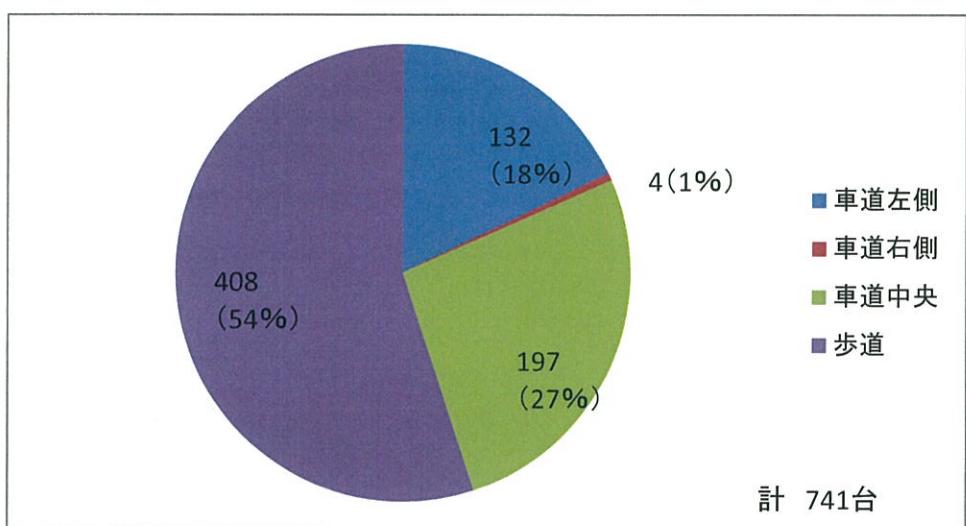
本年 6 月に道路交通法が改正され自転車利用者にとっては、交通ルール・マナー等の遵守が徹底された。

自転車総合ビル前の車道左側のデータは、減少傾向となつたが、白金地点のデータは、横ばいであった。

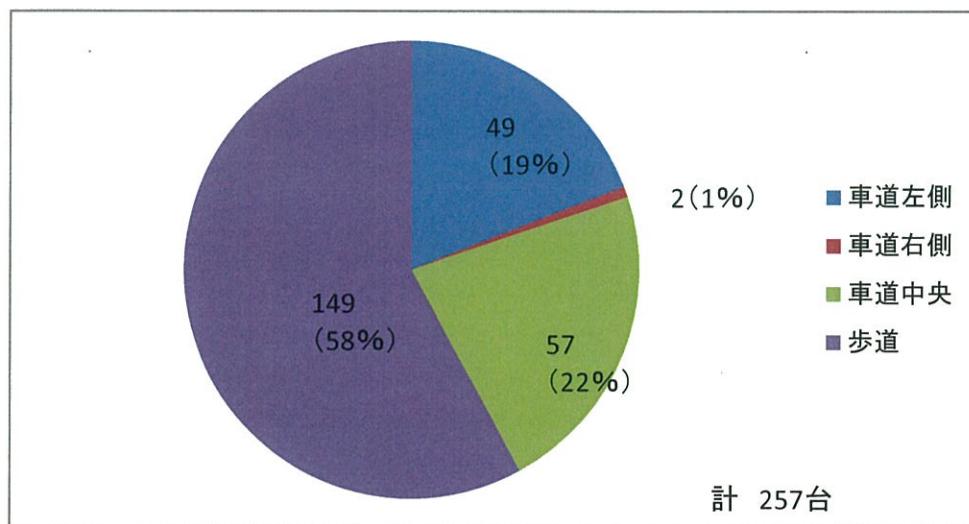
単に上り地点、下り地点の相違だけなのか、今後の状況を見守りたいものである。



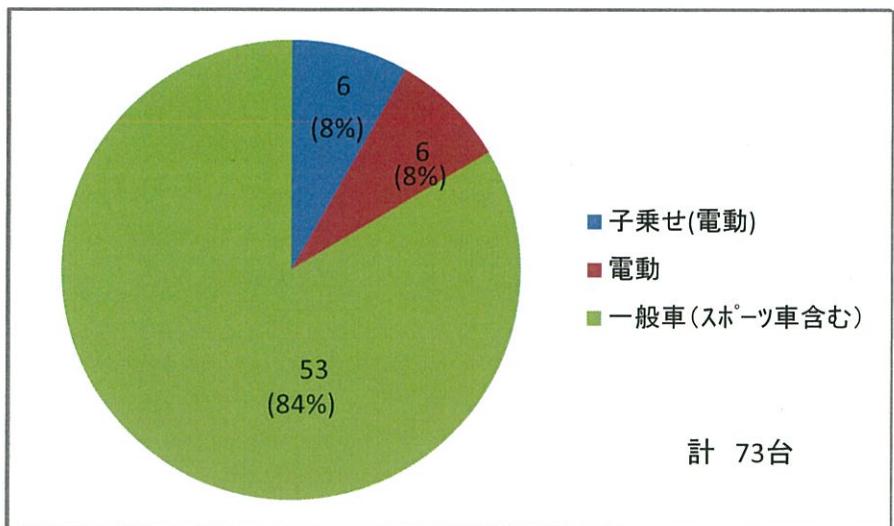
*参考)



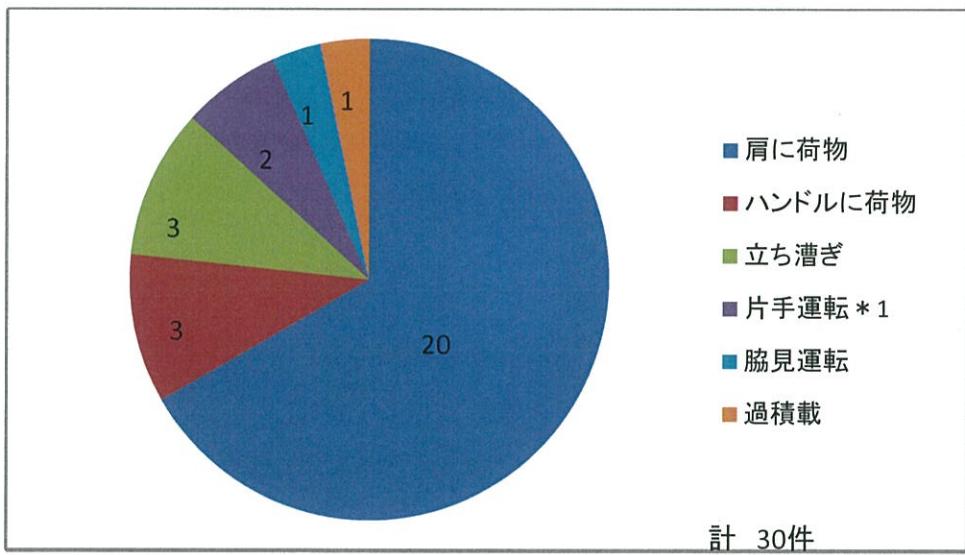
調査期間 26.7～27.5(道路交通法改正前)



調査期間 27.6～27.8(道路交通法改正後)



車 種



危険運転行為 (違反行為を含む)

* 1 内1件 携帯電話を使用中の運転

